

# 2024年3月期第2四半期 決算補足説明資料

2023年11月2日

株式会社エーアイ

証券コード：4388

声を便利に、声を楽しく。



1. 企業概要
2. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2024年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

# 【会社概要】

会社名	株式会社エーアイ（英文社名：AI, Inc.）
代表者	代表取締役社長 廣飯 伸一
設立	2003年4月1日
本社	東京都文京区西片一丁目15番15号 KDX春日ビル10階
資本金	100,000,000円（資本準備金 121,280,000円）
市場	東京証券取引所グロース（証券コード：4388）
主要株主	廣飯 伸一、吉田 大介、合同会社 吉田事務所
決算期	3月
従業員数	正社員：53名 パート及び嘱託社員：9名
事業内容	音声合成エンジン及び関連するソリューションの提供

（2023年9月末日現在）



# 【企業理念・行動指針】

## 企業理念

エーアイは音声技術で社会に新しい価値をつくり続けます

## MISSION

声がつくれる“便利さ”と声をつくる“楽しさ”を

## VISION

音声技術で社会の役に立つサービスをつくり続ける

## VALUE

音声技術のトップランナーで居続ける

- 人が幸せになる技術・サービスを提供する
- お客様と社員と共に未来をつくっていく
- 日々、一步一步丁寧に歩いていく

## 行動指針

- 新しい技術、新しいスキルを、常に身につけていく人に。
- お客様も社員も自分も。仲間と一緒に自分を育てていく思いやりのある人に。
- 着実に行動して成長していく向上心のある人に。



# 【AITalk®とは】

従来の「コーパスベース音声合成方式」と、最新の深層学習技術を活用した「DNN音声合成方式」を、利用シーンに合わせて選択することで、さらなる人間らしさ・豊かな音声を追求した 高品質音声合成エンジンです。

10月12日に進化した新世代DNN音声合成エンジン

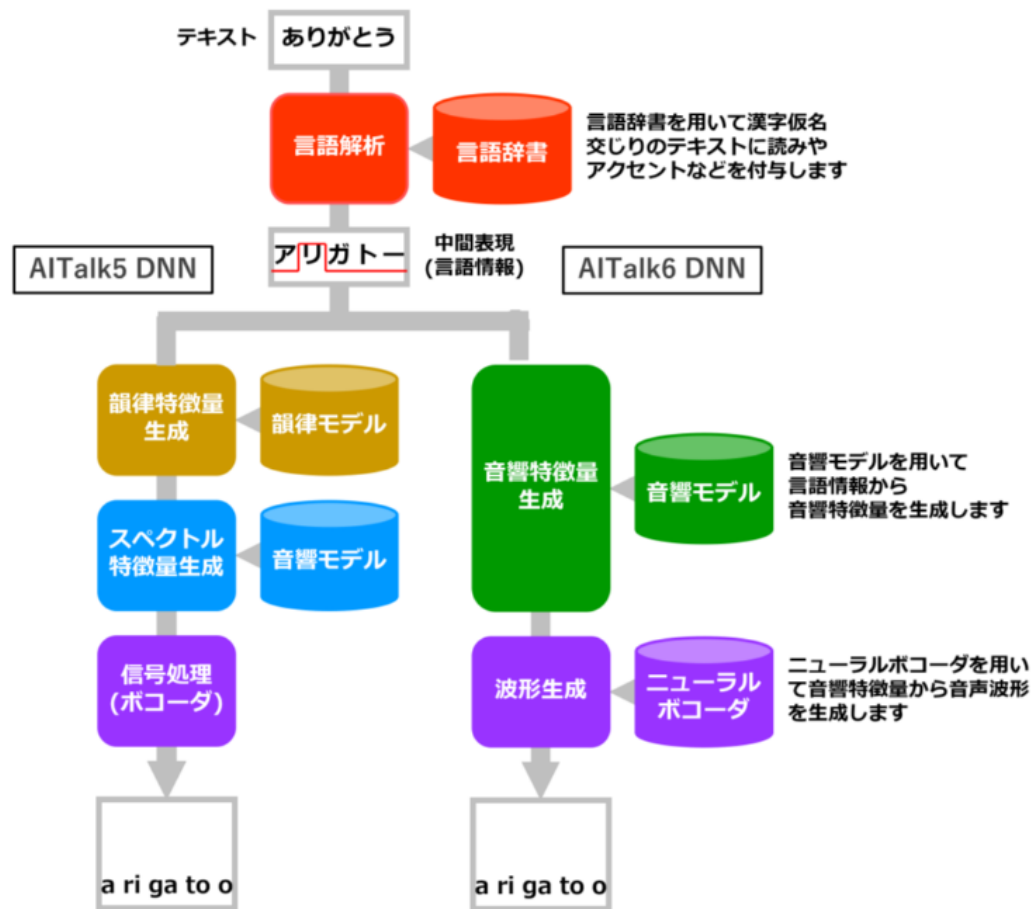
「AITalk®6」を発表しました。

信号処理による音声生成法（ボコーダ）を

ニューラルネットワークによる音声生成法（ニューラルボコーダ）に

変更する事により、さらなる人間らしさ・豊かな音声を追求した

高品質音声合成エンジンです。



# 【選ばれる理由】

## ①人間的でなめらか・人に近い自然な音声

AITalk®は、従来の機械的な合成音ではなく、人間の声に近い自然な音声合成です。

## ②総勢100名以上の話者・言語の種類は40種類以上の豊富な音声ラインナップ

音声の差替えや追加の度に発生していた収録の手間やコストの事を気にせず、必要な時に必要なだけ音声の差替えや追加ができます。

## ③誰の声でも短時間の収録で音声合成用データに変換

芸能人や声優、自分の声を収録し、音声合成用のオリジナル辞書を作成することができます。文字を入力するだけで、本人の声のようリアルな音声で喋らせることができ、WEBキャンペーンやスマートフォンアプリ、ゲーム等の様々なコンテンツでの展開が可能です。

# 【ビジネスモデル】

区分		販売形態		製品・サービス
法人向け	法人向け製品 (前年度実績：売上の44.2%)	パッケージ販売	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AITalk® 声の職人®</li> <li>• AITalk® 声プラス®</li> <li>• AITalk International®</li> </ul>
		ライセンス提供	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AITalk® SDK</li> <li>• AITalk® Server</li> <li>• AITalk® micro</li> </ul>
		受託開発	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AITalk® Custom Voice®</li> <li>• 音声ファイル作成サービス</li> </ul>
		その他	ストック型 フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>• VOITER (AIライティングレコーダー)</li> </ul>
	法人向けサービス (前年度実績：売上の30.0%)	クラウドサービス	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AITalk® WebAPI</li> <li>• AITalk® Web読み職人®</li> <li>• AITalk® 声の職人® クラウド版</li> <li>• A.I.VOICE Biz®</li> <li>• AIPal™ Chat</li> <li>• コエステーション®</li> </ul>
		サポートサービス	ストック型	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 技術サポート</li> </ul>
コンシューマー向け製品 (前年度実績：売上の25.8%)		パッケージ販売	フロー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>• かんたん！AITalk®</li> <li>• かんたん！アフレコ™</li> <li>• AITalk® あなたの声®</li> <li>• VOICEROID®シリーズ</li> <li>• A.I.VOICE® シリーズ</li> </ul>

# 【利用されている用途 (AITalk)】



音声対話



防災行政無線・全国瞬時警報システム (J-ALERT)



道路交通情報



ナビゲーション・PND



スマートフォンアプリケーション



観光案内・館内・車内各種放送



電話自動応答システム



ロボット



WEBキャンペーン・WEBサービス



ゲーム



e-learning・教材・マニュアル作成  
Copyright AI, Inc. All Rights Reserved.



機器への組み込み



パッケージソフトへの組み込み



ソフトOEM提供



メディア



# 【利用されている用途（A.I.VOICE）】

キャラクター利用＋動画ナレーション作成

## 個人利用



解説動画

TRPGリプレイ動画

歌ボ動画  
(歌うVOICEROID)

料理・ゲーム・  
旅行の実況動画

キャラの掛け合い  
劇場動画



## 法人利用



地方創生・観光誘致  
(町おこし)



デジタルコンテンツ  
(スマホアプリ・ゲーム)



セールスプロモーション



キャラクター商品化

# 【導入・販売実績】

導入実績数



2100社

防災行政無線での  
導入自治体数



834市区町村

オリジナル音声辞書  
作成実績数



400名

法人向けパッケージソフト  
累積販売数



1800ライセンス

コンシューマー向け  
パッケージソフト累積販売数



12万ライセンス以上

1. 企業概要
2. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2024年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

# 【エグゼクティブサマリー】

売上高（第2四半期）

**299百万円**（前年同期比+2.2%、期初計画比+0.6%）

営業利益（第2四半期）

**4百万円**（前年同期比 - 期初計画比 -）

当社を取り巻く環境においては、売上は全体的に低調に推移しつつも大型案件の牽引、およびM&A成功による売上高寄与により、期初計画および前年比を上回っての黒字を計上した。なお、コエステ株式会社の吸収合併（9/1付）に伴い、抱合せ株式消滅差損13百万円が計上されたことにより四半期純損失9百万円となりました。

前年度大きな落ち込みを見せた防災向け製品の回復の一方、法人向けパッケージ製品は計画を下回る結果。

クラウドサービスの強化、コンシューマー製品の堅調な推移により、全体的には計画を上回った。

**音声合成単一事業から音声周辺領域を一手に担う総合商社を目指し新規分野取組を強化。**

Cerence社製「CSDK」を組み込んだプロダクト開発

ChatGPT活用の法人向けAIチャットサービス「AIPal™ Chat」

ヤマハ「SoundUD」に対応する音響通信オプション提供開始

Unity向け音声合成エディター拡張「A.I.VOICE for GAMES」を提供開始

コンシューマー向けオンラインくじ

# 2024年3月期 第2四半期 決算概要【前年同期比】

○売上高は微増したものの、ほぼ昨年と同水準となった。売上原価についても、コンシューマー向け製品の拡充により、昨年度より引き続き増加の傾向で推移中。

○売上高の微増に対し、京都事業所を本社に統合したことで販管費が抑制され、前年同期比で営業利益が黒字となって着地した。

(百万円)

	2023年3月期第2四半期（実績）		2024年3月期第2四半期（実績）		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	293	100.0%	299	100.0%	+6	+2.2%
売上原価	77	26.5%	80	26.9%	+3	+3.6%
売上総利益	215	73.5%	219	73.1%	+4	+1.7%
販売管理費	239	81.7%	214	71.5%	△25	△10.6%
営業利益 又は営業損失(△)	△24	-	4	1.3%	+29	-
経常利益 又は経常損失(△)	△23	-	4	1.3%	+28	-
四半期純損失	△16	-	△9	-	+7	-

# 2024年3月期 第2四半期 決算概要【当初計画比】

○コエステ社クラウドサービス「コエステーション」の売上及び受託売上の計上により売上が増加した一方で、法人向けパッケージ製品の低調な推移により、結果的に売上高は微増となっている。

○M & A 関連費用が資産計上になったことに加え、一部コンシューマー向け製品の発売時期の遅れにより、仕入原価、販売促進費の発生が下期にズレ込んだことから、営業利益、経常利益、四半期純損失の全てにおいて当初計画を上回った。

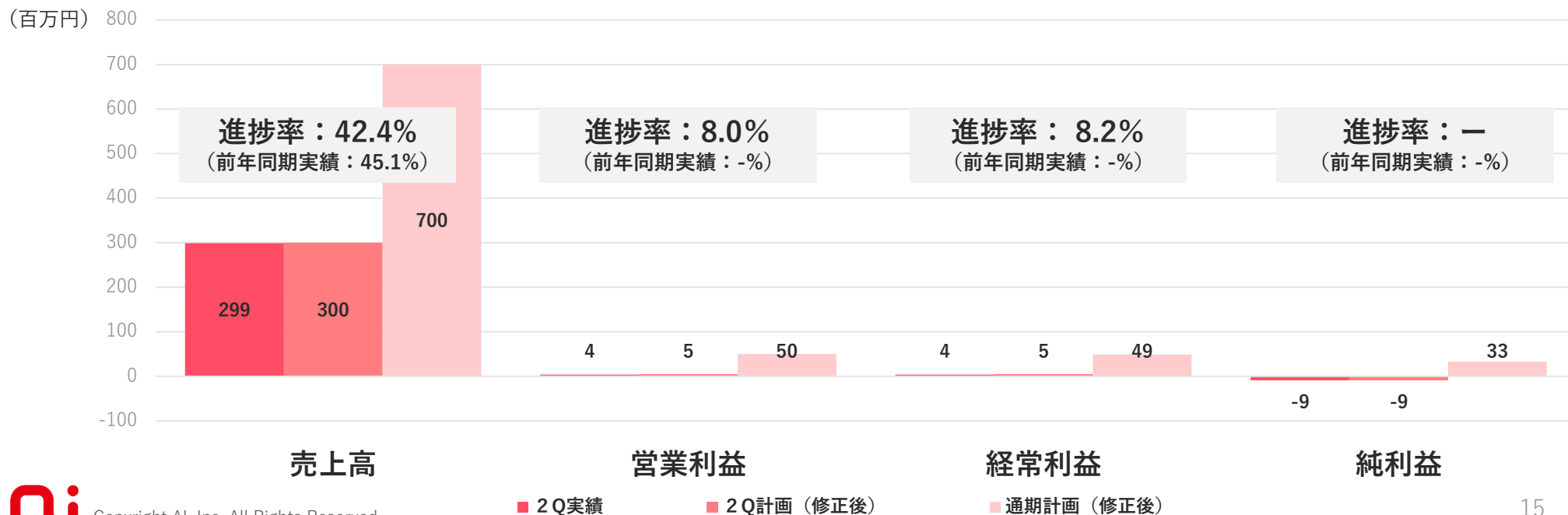
(百万円)

	2024年3月期第2四半期（当初計画）		2024年3月期第2四半期（実績）		当初計画比	
	当初計画	構成比	実績	構成比	増減額	達成率
売上高	297	100.0%	299	100.0%	+2	100.9%
売上原価	84	28.3%	80	26.9%	△4	95.8%
売上総利益	213	71.7%	219	73.1%	+6	102.9%
販売管理費	235	79.1%	214	71.5%	△20	91.1%
営業利益 又は営業損失(△)	△22	-	4	1.3%	+26	-
経常利益 又は経常損失(△)	△23	-	4	1.3%	+27	-
四半期純損失	△16	-	△9	-	+7	-

# 2024年3月期 第2四半期 決算概要【進捗状況】

○売上高、営業利益、経常利益、純利益のすべてにおいて修正計画値通りの進捗となっている。

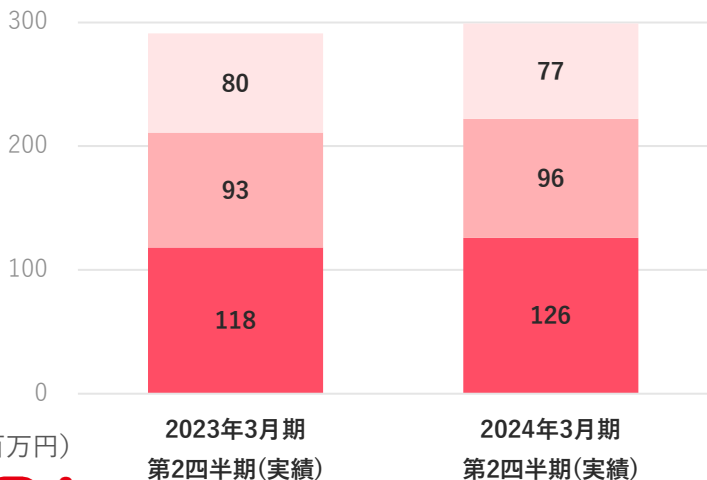
○9月1日付コエステ社吸収合併による当初計画からの修正については、10月13日付「2024年3月期 第2四半期（累計）および通期の業績予想の修正並びに子会社の吸収合併に伴う特別損失（抱合せ株式消滅差損）の発生に関するお知らせ」の通りである。



# 2024年3月期 第2四半期 分類別売上【前年同期比】

法人向け製品	前期は世界的な半導体不足の影響を大きく受けた防災向け製品だが、今期は供給の回復を受けて売上も想定通り堅調に推移。また、大型の受託案件の影響もあり実績としては前期比で増加した。一方、パッケージ製品については需要が低下しつつある。防災向け製品の順調な売上により結果的に前年比を上回る着地だが、パッケージ製品の需要について今後も注視が必要となっている。
法人向けサービス	コエステ社「コエステーション」の売上を反映。影響は9月の1か月のみのため、前年比では影響は微小となった。
コンシューマー向け製品	前年比微減となったが、新規製品発売時期の影響を受けたものであり、A.I.VOICEシリーズの需要は引き続き維持されている。

■ コンシューマー向け製品 ■ 法人向けサービス ■ 法人向け製品



	2023年3月期 第2四半期(実績)		2024年3月期 第2四半期(実績)		前期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
法人向け製品	118	40.5%	126	42.4%	+6.9%
法人向けサービス	93	31.9%	96	31.9%	+2.3%
コンシューマー向け製品	80	27.6%	77	25.7%	△4.9%
合計	293		299		+2.2%





# 2024年3月期 第2四半期 貸借対照表の概要

資産合計	フュートレック社のTOB及びコエステ社のM&Aの影響で現金及び預金が749百万円減少した。それを受け流動資産が前事業年度末比774百万円減少したが、資産合計は193百万円増加した。
負債合計	短期借入金の120百万円増加により、前事業年度末比202百万円増加。
純資産合計	利益余剰金が9百万円減少したことにより、前事業年度比10百万円減少。

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期 第2四半期	前期比 増減額
流動資産	1,359	585	△774
固定資産	34	996	+962
有形固定資産	13	11	△2
無形固定資産	8	49	+41
投資その他の資産	12	935	+923
資産合計	1,393	1,586	+193

(百万円)

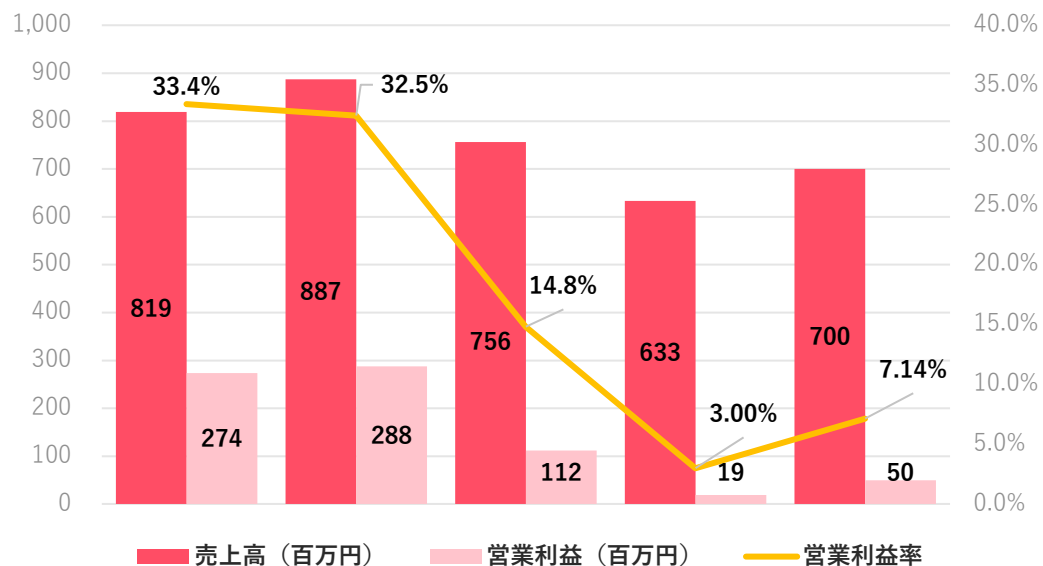
	2023年3月期	2024年3月期 第2四半期	前期比 増減額
流動負債	201	272	+72
固定負債	1	132	+131
負債合計	202	404	+202
純資産	1,191	1,181	△10
負債・純資産合計	1,393	1,586	+193

自己資本比率	85.5%	74.5%	△11.0pt
--------	-------	-------	---------

1. 企業概要
2. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2024年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

# 2024年3月期 通期 業績予想

法人向け製品におけるパッケージ製品の下期売上を保守的に見積り直したうえで、法人向けサービスにおいて「コエステーション」が売上増加に寄与することに加えて、コンシューマー向け製品の新規事業であるオンラインクジの売上増加を見込んだ結果、売上高は前年を上回る見込み。費用面においては、コエステ社の吸収合併に伴う労務費等の増加に加え、オンラインクジ、コンシューマー向け新商品の発売に伴う仕入原価、支払ロイヤリティ、販売促進費が増加する見込みで、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の全てにおいて、前回発表予想を上回る見通しとなったため、10月13日付で業績予想の修正を発表。



(百万円)

	2023年 3月期	2024年 3月期 (予想)	前期比 増減率
売上高	633	700	+10.6%
営業利益	19	50	+163.2%
経常利益	22	49	+122.7%
当期純利益	16	33	+106.3%

# 2024年3月期 通期 業績予想（分類別）

法人向け製品	前年比で防災向け製品が好調に推移している一方、法人向けパッケージ製品の売上を保守的に見積り、売上予想は前期並みで見込む。
法人向けサービス	コエステ社製品「コエステーション」の売上が売上増加に寄与することで前期比36.8%の売上増加見込み。
コンシューマー向け製品	新規製品発売、新規事業展開により、前期並みを見込む。

(百万円)

	2023年3月期		2024年3月期（予想）		前期比 増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
法人向け製品	280	44.2%	280	40.0%	0%
法人向けサービス	190	30.0%	260	37.1%	+ 36.8%
コンシューマー向け製品	163	25.8%	160	22.9%	△1.8%
合計	633		700		

# 配当方針

当社の配当に関する基本方針は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、業績の推移、財務状況、事業計画に基づく資金需要等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスをとりながら経営成績に合わせた利益配分を基本方針としております。

2024年3月期につきましては、業績の改善を前期比では見込んでいるものの現時点では、誠に遺憾ながら無配とさせていただきました。

1. 企業概要
2. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2024年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて

# 【ESGへの取り組み】

S: 社会	①女性活躍の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社員53名中、女性が28名（52.8%）</li> <li>・ 管理職14名中、女性が5名（35.7%）</li> </ul>
	②子育て支援の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 育児休業制度の活用 6名（内、男性1名）</li> </ul>
	③働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フレックスタイム制度の導入</li> <li>・ 残業の少ない職場環境 月平均残業時間：5.63 時間（前期平均）（参考：前々期7.39時間）</li> <li>・ 休暇を取りやすい職場環境 平均有給消化率：87.6%（前期実績）（参考：前々期81.1%）</li> <li>・ 在宅勤務制度の導入 在宅勤務対象者：全社員の92.4%（前期実績）（参考：前々期92.2%）</li> </ul>
	④社会貢献活動の推進 (2023年4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修学旅行の企業訪問 14校（83名）</li> </ul>
	⑤SDGs推進私募債発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手数料の一部がSDGs関連団体に寄付される私募債を発行</li> </ul>
G: ガバナンス	①株主・投資家との対話 (2023年4月～9月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機関投資家向け説明会の開催 1回</li> <li>・ 機関投資家との1on1ミーティング 9回</li> </ul>

1. 企業概要
2. 2024年3月期 第2四半期 決算概要
3. 2024年3月期 通期 業績予想・配当方針
4. ESGへの取り組み
5. 今後の成長へ向けて



# 【マーケットの推移】

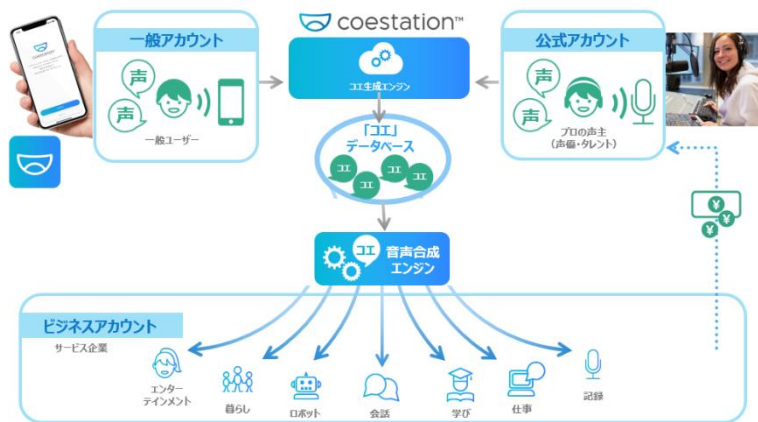
第1フェーズ (2003年～)	第2フェーズ (2011年～)	第3フェーズ (2015年頃～)	コロナ禍 (2020年～)	アフターコロナ・今後 (2023年～)
				新しいマーケットを開拓
				オーディオブック
				生成系AIとの連携
		インバウンド (多言語)		インバウンド (多言語)
			動画配信プラットフォーム	
		ナレーション作成	Eラーニング教材・動画での活用	
	車載分野			
	双方向の音声対話 (スマートフォン・ロボット)			
	コンシューマー		コンシューマー (動画作成)	
	防災分野			
電話の自動応答				

# 【2024年3月期の主な取り組み】

## ①M&A実績（コエステ株式会社）

成長スピードの極めて速い音声合成市場での競争力の強化等、大きなシナジーを見込む。7月の株式取得後、9月に吸収合併を行った。

主力商材である「コエステーション」はクラウドサービス製品であり、オーディオブック業界等の需要の高まる分野への採用に向け営業を強化して取り組んでいる。



会社名	コエステ株式会社
事業内容	音声合成技術を活用したコンテンツの企画・制作・開発・運用・流通事業等
取得金額	141,700 千円
株式取得日	2023年7月1日
吸収合併	2023年9月1日

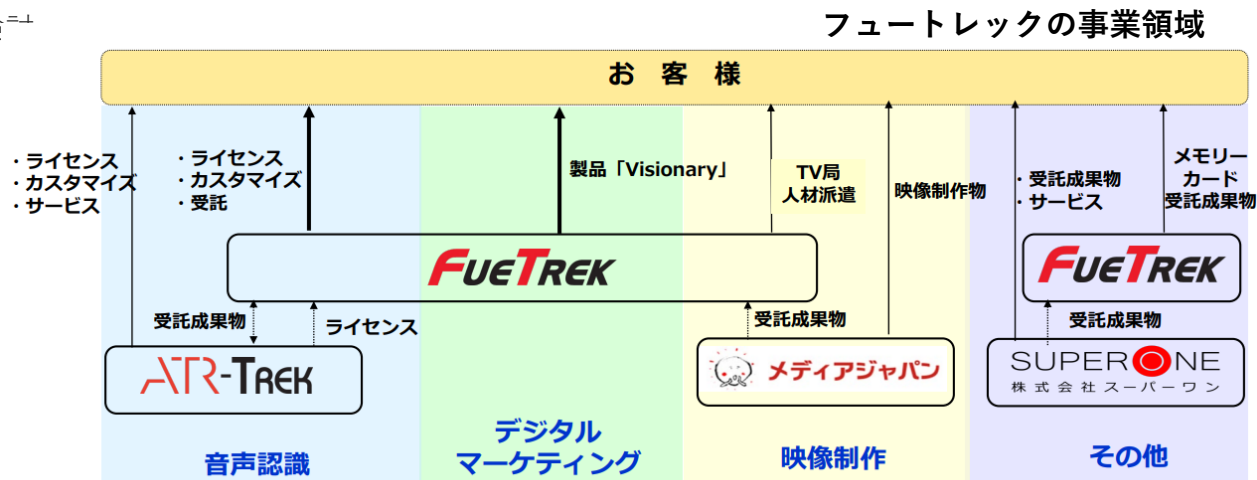


# 【2024年3月期の主な取り組み】

## ②株式会社フュートレックとの資本業務提携

音声認識事業を中心とするフュートレック株式会社（東証スタンダード：証券コード2468）の株式約40.5%を取得するTOBを実施し成立。資本業務提携委員会を発足し以下の4項目について資本業務提携委員会の下にプロジェクトチームを設け、両社が持つ研究開発技術や製品・サービスのノウハウ、営業ノウハウ等について資本業務提携に基づいた協働関係を構築し、互いの強みを活かしたシナジー効果を発揮すべく、2023年12月末を目途に議論を進めている。

- ・技術連携
- ・製品・サービス共同開発
- ・営業連携
- ・合理化検討

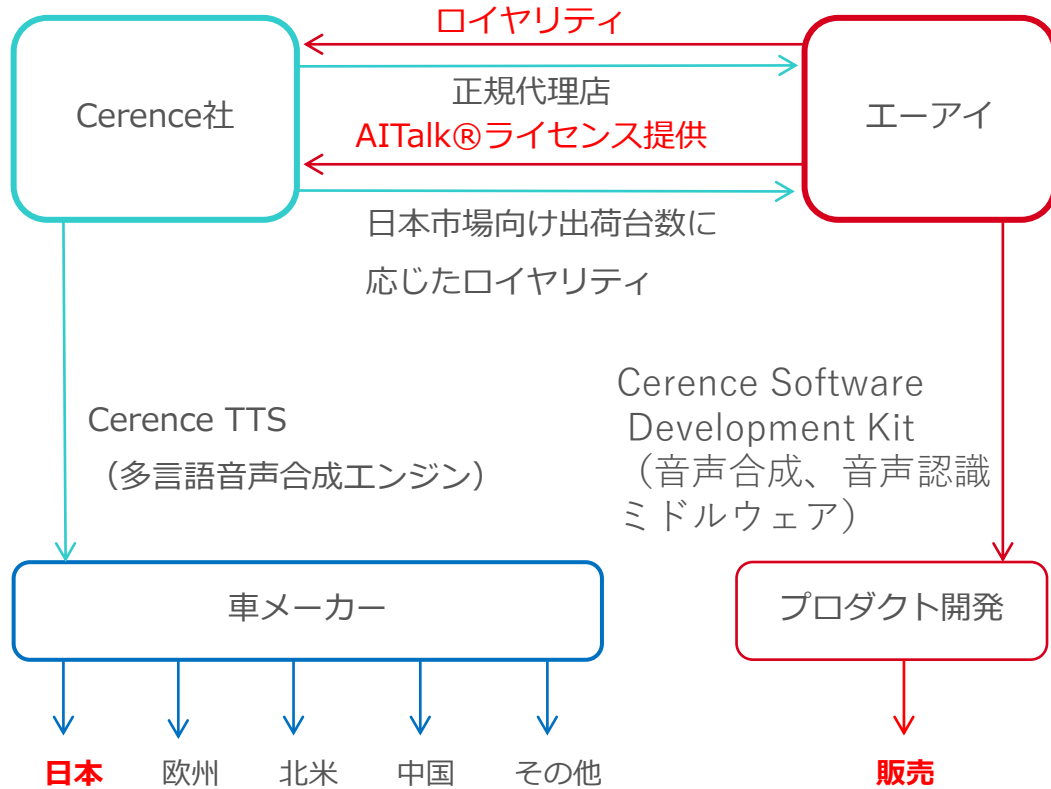


# 【2024年3月期の主な取り組み】

## ③Cerence社との協業

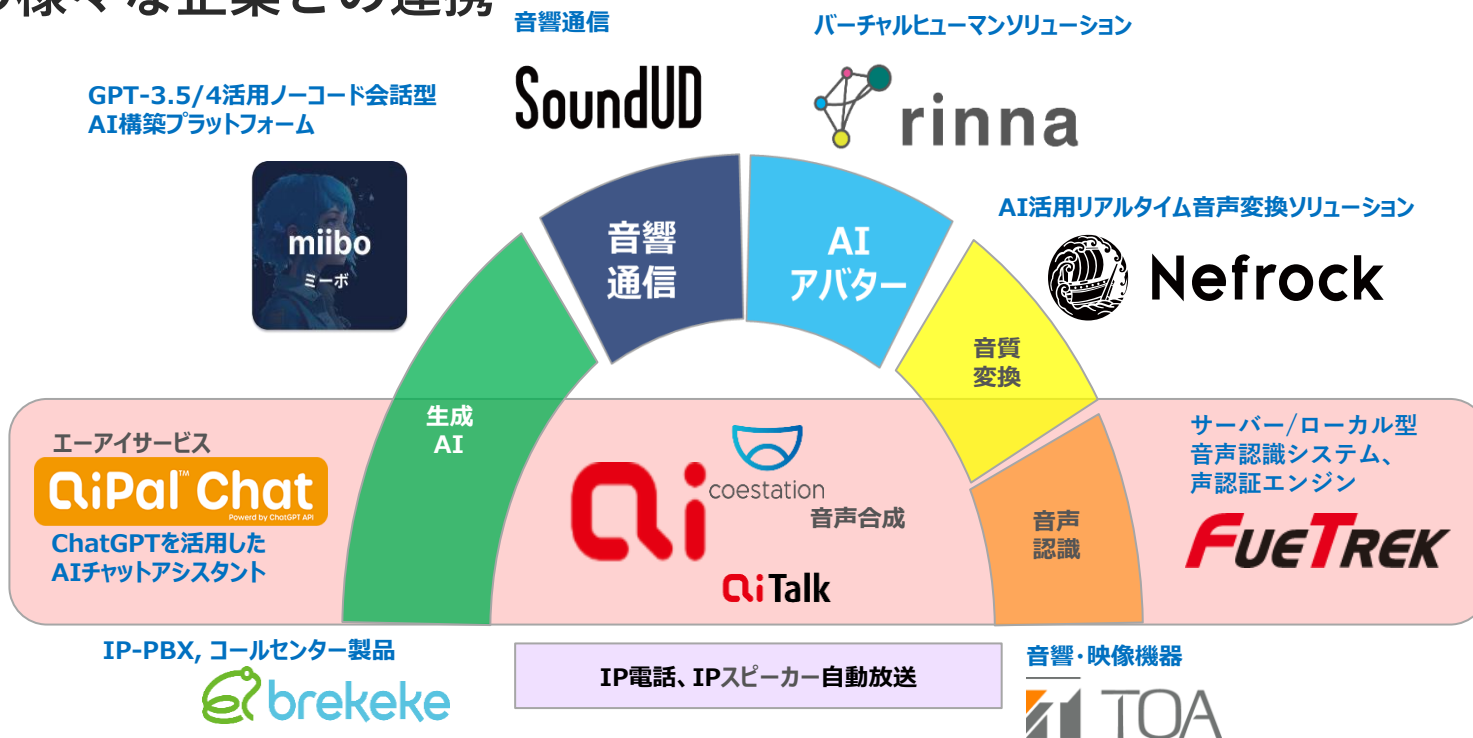
- ・ 2019年11月12日公表  
Cerence社とのライセンス契約を締結。
- ・ 2020年6月22日公表  
「AITalk®」が組み込まれた「Cerence TTS」をCerence社より提供開始。  
「Cerence TTS」の販売協力を加速。
- ・ **2023年4月13日公表**  
**Cerence社との代理店契約締結及びプロダクト開発着手。**  
40言語以上の外国語に対応したCerence社製「CSDK」を組み込んだプロダクトを開発中で、多言語対応製品を拡充予定。

### 新ビジネススキーム



# 【2024年3月期の主な取り組み】

## ④国内外の様々な企業との連携



- ・ Cerence社 (前項参照)
- ・ iFLYTEK社 (協業契約締結)、Acapela社 (協業契約締結)

# 【2024年3月期の主な取り組み】

## ⑤新規サービスリリース

### AIPal™ Chat

#### ChatGPT活用の法人向けAI チャットサービス 「AIPal™ Chat」 サービス提供開始

AI チャットに様々な質問をすること、また自動で文章を生成させることが可能。法人業務に活用するための安全性の担保、音声インタフェースを使った入力など、様々な機能を搭載。

### A.I.VOICE for GAMES

#### Unity向け音声合成エディター拡張 「A.I.VOICE for GAMES」を提供開始

世界有数のプラットフォーム「Unity」にてエディター上で容易に音声を作成可能なエディター拡張をリリース。ゲームを始めとしたコンテンツの開発で、より手軽に音声合成によるボイス導入が可能に。

### からもるくじ

#### ハズレ無しのオンラインくじ 「からもるくじ」がサービス開始

第1弾は弊社オリジナルキャラクター琴葉茜・葵のオリジナル商品「琴葉浪漫譚」を発売。今後は他社キャラクター、アーティスト等のコラボ企画が登場予定。

### SoundUD対応音響通信オプション

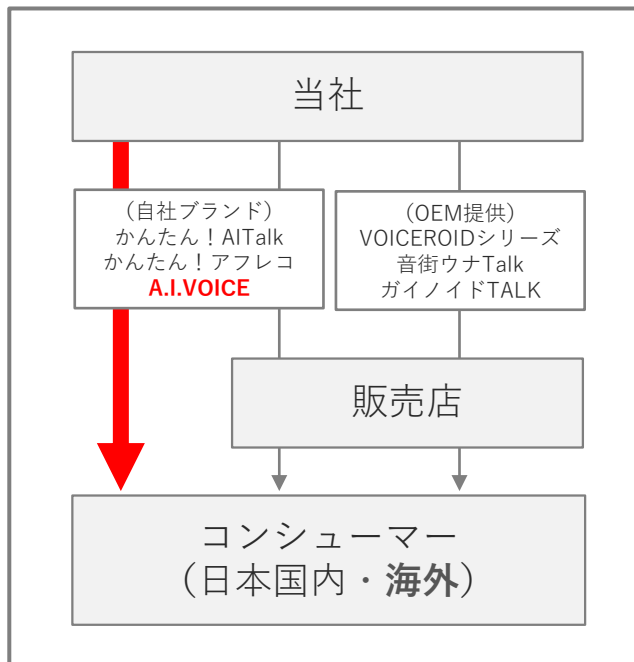
#### ヤマハ「SoundUD」に対応する 音響通信オプション提供開始

「声の職人クラウド版」のサービス上で作成する合成音声に、音響通信を可能にするトリガー音声を自動でMIXすることが可能に。



# 【2024年3月期の主な取り組み】

## ⑥オリジナルブランド音声読み上げソフト「A.I.VOICE®」シリーズの拡大



自社ブランドの拡大、海外展開を進める。

### 【2023年発売開始】

- ・ 日本語音声合成パッケージ  
「A.I.VOICE 紡乃世詞音」  
「A.I.VOICE ZOLA」  
「A.I.VOICE 夜語トバリ」  
「A.I.VOICE ユニティちゃん」  
「A.I.VOICE VY Project」
- ・ クラウドファンディング実施中  
「A.I.VOICE junior “カキョウヨサリ”」  
その他、新規企画進行中
- ・ エーアイ・ドワンゴ共同開発のAIボイスチェンジャー  
「Seiren Voice」  
高速化&システム要件緩和のv2ライブラリを発表



# 【2024年3月期の主な取り組み】

## ⑦ 自社IPの多角的展開

- ・ 琴葉姉妹9th.記念グッズ発売
- ・ ニコニコ超会議出展
- ・ コノトハズフェスタ  
& コトノハナイトパーティー出展
- ・ ジュエリー、カクテルシロップ、  
ヨーヨーなどの他社コラボ
- ・ 多言語対応EVバイクレンタルサービスコラボ
- ・ Gratte コラボを全国9店舗で開催
- ・ 『A.I.VOICE SPECIAL BOOK 2024』制作決定
- ・ 琴葉姉妹10周年公式ライブ  
11月17日よりクラウドファンディング開始予定





# 将来見通しに関する注意事項

本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想及び将来予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの将来見通しと異なる場合があります。